

2025年度 芝雄会総会 議事録

2025年5月10日 15:00-15:45

新豊洲校舎 1F カフェテリア

記録: 金田(豊洲67回生)、和田(豊洲70回生)

出席者

出席者総数(43人)

長崎(池袋16)、椎名(池袋21)、佐藤(池袋23)、岡田(学校/池袋25)、豊田(板橋29)、川村(板橋54)、鈴木(板橋55)、田中(板橋55)、飯村(板橋58)、藤田(板橋59)、板倉(豊洲66)、林(豊洲66)、金田(豊洲67)、鳥生(豊洲67)、稲田(豊洲68)、多田(豊洲68)、浅見(豊洲69)、岩瀬(豊洲69)、蓮見(豊洲69)、羽田(豊洲69)、山崎(豊洲69)、西原(豊洲70)、根津(豊洲70)、矢向(豊洲70)、和田(豊洲70)、安藤(豊洲71)、石川桂(豊洲71)、岩澤(豊洲71)、小椋(豊洲71)、郡司(豊洲71)、佐々木(豊洲71)、神野(豊洲71)、セルジマルティーノ重人(豊洲71)、高澤(豊洲71)、竹越(豊洲71)、田中(豊洲71)、中村(豊洲71)、早野(豊洲71)、布施田(豊洲71)、古山(豊洲71)、増川(豊洲71)、柴田(学校)、奥(学校)

司会

羽田(豊洲69回生)

議長

鳥生(豊洲67回生)

1. 会長挨拶

- 大勢の方にご参加いただいたことに感謝したい。
- 本総会にて、芝雄会の昨年度における活動の成果を報告するとともに、今年度の計画についてご審議いただきたい。

2. 学校長挨拶

- 昨年度の英語プレゼンコンテストでは、芝雄会会長賞を授与していただいた。
- 今年度は中学校の共学化世代が高校2年生になり、来年度に完全共学化する。
- 文科省のDX補助金を活用し、全教室のプロジェクターをワイドスクリーンのものに更新した。
- グラウンドの芝生の全面張り替えを行った。
- 本校の充実した書道教育が認められ、文部科学大臣賞を受賞した。記念の筆を1階中央階段下に展示している。
- 同窓会・父母の会室に、初代から4代目の校長と佐藤元校長の写真が加わり、歴代校長の写真が揃った。

- 昨年度からクラウドファンディングを実施している。
- 今年度は、返礼品付きの寄付を開始する予定である。
- 今後もOB・OGと連携して、探究活動等をしていきたい。

3. 2024年度 事業報告

藤田副会長より総会資料に従い主なイベントやチームの活動が報告された。

- 常任幹事会チーム：年間開催数を4回から6回に変更した。
- 常任幹事勧誘チーム：21人の新入幹事を迎えた。
- 芝雄チーム：芝雄57号を発行した。ホームページでも公開している。
- ウェブメディアチーム：ホームページの更新に加えて、Instagramの更新にも力を入れた。
- 芝雄会賞チーム：芝生祭では9つの芝雄会賞を、卒業時の同窓会奨励賞は過去最多の153名に授与した。また芝生祭では副賞として売店で利用できる文具引換券を導入した。
- 全国大会出場補助チーム：電子技術研究部の世界大会における遠征費を補助した。

質疑応答

- 特になし。

採決

- 賛成多数で可決。

4. 2024年度 決算・監査報告

鈴木副会長より総会資料に従い、以下の通り報告があった。

- 同窓生(同窓会員)の会費は、口座の移行が年度を跨いだため0円であった。2025年度に計上予定である。
- 会議費は、後期分の学生交通費精算が未精算で年度を跨いでしまった。
- 広報費は、芝雄57号発行に関する人件費高騰のため予算を超過した。
- 第13回成人式、還暦同期会、ゴルフを愉しむ会は実施しなかった。
- 慶弔費は、2件に対して行った。
- 集合同期会・クラブOB会には、江藤先生のお別れ会、20回生記念同期会の実施分が含まれる。
- 成人式・三十路同期会二次会は、精算が年度を跨いでしまった。
- 芝雄会奨励賞は、物価高騰・授与者数増加のため予算を超過した。
- 予備費には、2023年度未精算分が含まれる。
- 引当金の利息は、金利引き上げのため増加した。

監査報告

- 飯村氏より報告。

質疑応答

- 特になし。

採決

- 賛成多数で可決。

5. 2025年度 事業計画(案)

藤田副会長より総会資料に従い主なイベントとチームの活動について提案された。

- 会計チーム:会費納入方法を、ゆうちょ銀行への振込からオンライン決済への移行準備を進める。
- 同期会補助チーム:補助の在り方について一新し、新たな体制を構築する。
- 成人式チーム:第17回成人式を開催予定である。延期中の第12回成人式は、当該学年が25歳を迎える節目に合わせて、来年度実施を目指して計画に着手する。
- 大人部活動チーム:同窓生の交流を促す新たな枠組みとして、今年度新たに設立する。3か年計画とし、2027年の始動を目指して運営体制等の計画を行う。
- 在校生サポートチーム:昨年度、芝雄会賞・全国大会出場補助・在校生活動補助の3つのチームで独立していたが、一体的に活動するためにチームを統合して、在校生をサポートする。

質疑応答

- 特になし。

採決

- 賛成多数で可決。

6. 2025年度 会計予算(案)

鈴木副会長より総会資料に、以下の通り提案された。

- 事務費は、グループウェアのライセンス追加のため増額する。
- 広報費は、芝雄定期発行をしないため0円とする。
- 延期分の第13回成人式は、2026年度実施予定のため0円とする。
- 三十路同期会は、前年の実績を踏まえコロナ禍前の予算額に戻す。
- 成人式・三十路同期会二次会は、3学年から2学年に変更のため減額する。
- 芝雄会奨励賞は、物価高騰・授与者数増加のため増額する。
- 予備費には、2024年度の未精算分が含まれる。
- 引当金の利息は、金利引き上げのため増額する。

質疑応答

- 特になし。

採決

- 賛成多数で可決。

7. 2025年度 新役員(案)

藤田副会長より総会資料に従い提案された。昨年度と同じ体制としつつ、21名の新入幹事を迎えて活動する。内訳は次の通り。

- 豊洲70回生(2024年3月卒):1名
- 豊洲71回生(2025年3月卒):20名

質疑応答

- 特になし。

採決

- 賛成多数で可決。

8. 細則改訂(案)

鈴木副会長より総会資料に従い、芝雄会同期会およびクラブOB・OG会に関する補助規定の改定が提案された。

- 現行
 - 同期会補助は、5人以上の出席をもって一律10,000円を補助する。
 - 補助回数の上限はない。
- 変更点
 - 7人以上が出席する集まりに対して、会員1人につき2,000円を補助する。
 - 補助回数を会員1人あたり年間1回までに制限する。
 - なお、卒業時に会費を一括納入した会員については、卒業後12年間に限り補助回数を1回加算し、年間2回まで補助を受けられる。

- また、年会費3,000円の納入ごとに、補助回数を年2回加算する。
- 補助対象となる会の開催時点で補助回数を超過している会員は、出席人数には含めるが、補助金額の算出には含めない。
- ただし、7人未満もしくはその他の場合は、常任幹事会の承認を得るものとする。
- クラス、部活、委員会の3つのコミュニティで集まることを想定し、会費1口納入で年3回の補助を受けられるようになる。
- 啓蒙活動の観点から、会費未納入でも年1回補助を行う。

質疑応答

- 金田(豊洲67):変更に至った背景を教えてください。
 - 鈴木(板橋55):限られた予算の中で幅広い会員の皆様にご利用いただけるように、回数制限を設けた。

採決

- 賛成多数で可決。

以上